

桐朋がめざしていること

「こころの健康、からだの健康」

これが桐朋のモットーです。生徒一人ひとりが心身ともに伸びやかに健やかに成長することこそ桐朋教育の根幹と考えているからです。桐朋の教師は、知的好奇心を刺激しないような授業を強いてないか、生徒の心を傷つけるような評価をしてないか、無意味な競争心をあおるような言動をしてないかなどについて、たえず検証をしています。桐朋生活には、ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ部活動、修学旅行、文化祭、体育祭など、生徒主体の活動が多過ぎるほどたくさんあります。生徒たちはこのような場を体験することで、各人各様に自分の居場所を見出し、自分の果たすべき役割を認識していきます。

桐朋の教育

(1) 一貫教育の中に生きるブロック制

桐朋では中高6年をAブロック(中学1年と2年)、Bブロック(中学3年と高校1年)、Cブロック(高校2年と3年)の3ブロックに分け、その生活目標をブロックごとに掲げています。

●Aブロック

基本的な生活習慣をしっかりと身につけ、心身ともに健康で楽しい桐朋生活を送ることを目標にしています。教師は“分かる授業、楽しい授業”を工夫し、生徒一人ひとりが桐朋の中に自分の居場所を見つけられるよう手助けをします。

●Bブロック

さまざまな学習や行事の場を通じて、生徒一人ひとりが各自の適性を探り、将来に向けての夢をはぐくむ欲求を持つことを目標にしています。中学から高校に進学したとだんに勉強が難しくなることがないよう、どの教科も工夫をこらした授業を行います。

●Cブロック

生徒一人ひとりが自分で選んだ道を進むための学力と意欲を養うことを目標にしています。そのために生徒一人ひとりが自分の時間割を自由に作れる大幅な科目選択制を取り入れています。

(2) 定期テストはありません。通知表もありません。

桐朋には中間、期末試験がありません。“試験はレントゲン検査”というのが桐朋の考え方ですから、試験の点数だけで成績が決まるわけではないのです。検査ですから、学習が一区切りついた所でやればよいわけですし、やった結果が悪ければ復習をきちんとし次から間違わないようにすればいいのです。つまり、試験だけで何もかもが決まってしまうのではなく、授業中の活躍ぶりや各種レポートの出来不出来などを総合して評価(成績)を出すのが桐朋のやり方です。

その評価を伝える方法は“面談”です。通知表ではありません。授業を担当する教師が担任の教師宛に生徒一人ひとりの成績や教室での様子についてのコメントを提出し、担任が生徒や保護者と直接面談して各科目の成績などを伝えます。面談では勉強のことだけでなく、桐朋生活を楽しんでいるかどうかなども話題になります。ここにも、生徒の個性を尊重したいという桐朋教育のこだわりがあるわけです。

桐朋の帰国生教育

桐朋が帰国生を受け入れたのは1959年(昭和34年)、今年でちょうど50年になります。当時は「帰国子女」という言葉さえありませんでした。以来、多くの帰国生が桐朋に入学し卒業していきました。2009年3月現在、本校には38カ国からの帰国生が学んでいます。帰国生の卒業生も2700名を超えました。

帰国生のために用意されたさまざまなプログラム

(1) 各種“外国語会話教室”があります

外国生活で現地校や国際校に通い外国語をしっかりと自分のものにしている帰国生の会話力を保持するために、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の会話教室を開いています。

(2) 放課後に開設される“補習授業”が受けられます

帰国後、桐朋での生活や勉強に1日も早く適応してもらうことを願って、希望すれば放課後に数学と国語の補習授業が受けられます。帰国して間もない人たちのための授業ですから、時には話が横道にそれたり、さまざまな情報交換の場になったりします。

(3) 英語の時間には“取り出し授業”もあります

外国生活で得た英語力をさらに伸ばすため、中学1年から高校3年までの全学年の英語の授業の一部を割いて、アメリカやイギリスの現地校と同じレベルの授業を目標とした特別クラスを設けています。担当教師はすべてネイティブスピーカー。とくに高校3年ではSATの試験対策も含めた高度な授業内容になっています。

帰国生の在籍状況(2009年3月1日現在)

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	総数
帰国生数	28	25	44	37	42	47	223
生徒総数	303	287	302	273	299	287	1751



2009年9月入学の転入学・編入学試験

出願日: 2009年6月22日・23日

試験日: 2009年7月4日

発表日: 2009年7月4日

募集人員: 中1、中2、中3、高1、高2の各学年
約5名

〔注〕出願資格を事前に確認いたしますので、Eメールでお問い合わせください。